

# 鳥取大学地域医療総合教育研修センターでの 取り組みについて

総合診療科 李 瑛

せせらぎの原稿が久しぶりに回ってきました。前は2年ほど前に禁煙外来の話を書きました。何を書こうかと少し考えてみますと、世間的な医療のテーマといえばやはりコロナ！となるのですが、コロナに関する情報は日々刻々と変化をしますし、研究もものすごい勢いです。原稿を書いているのが11月中旬で、このせせらぎがお手元に届く頃には3回目接種の話が具体的に出始めている頃でしょう。

今いる総合診療科の部屋(病院の2階にあります)からは鈴なりになった柿が窓から見え、少し目線をずらすと数匹のカメムシが蜘蛛の巣に引っかかっています。秋を感じながらも来たるべき厳しい寒さに身が震える思いです

外来での話題は患者さんの症状、状態を確認することも大事ですが、それに加えてこうした季節の話題は欠かせません。都会と違って四季の影響・恩恵を受けやすい土地に住んでいると家の前の雪の状況から畑の農作物まで、季節に応じたお話を聞けることも外来をしていて楽しみの一つです。特に外来の患者さんは私よりも人生経験が豊富な大先輩ばかりなので、ここで得られた情報を家庭菜園を始めた妻に持ち帰ったりすることもしばしばです。

一見医療とは関係のないようなお話にも感じられるかもしれませんが、私としては非常に重要な時間であると考えております。患者さんの生活を知る、イメージをする。特に農業や林業といったしごとをされている方の生活は自分が今まで経験をしたことがないこともあり、話を聞いてイメージをふくらませることが大事だと思っています。時間が許せば実際に生活をされている様子や農業の様子なども見れば良いのですが……。

この文章が世に出る頃には雪化粧というきれいな言葉だけではない、雪との戦いが始まっているかと思えます。ぜひその様子も外来でお聞かせください。

